

地質標本館来館者アンケート結果概報 (2015 年度)

森尻理恵¹⁾・朝川暢子¹⁾・下川浩一¹⁾・奥山康子²⁾・佐藤隆司¹⁾・
高橋 誠¹⁾・酒井 彰¹⁾・須藤 茂³⁾・利光誠一¹⁾・菅家亜希子¹⁾・
吉田清香⁴⁾・中山 淳¹⁾・常木俊宏¹⁾・小賀野功⁵⁾

1. はじめに

地質標本館では、個人のお客様に、また、団体のお客様の場合にはその代表の方に記帳していただき、来館者数を数えています。この際に、来館者の声をお聞きするために、2005年4月からアンケートへのご回答をお願いしています(吉田, 2006)。アンケートは匿名で、いくつかの質問にお答えいただく部分と自由にお書きいただく部分があります。このアンケートを通じて多くの貴重なご意見をお寄せいただいたことに厚くお礼申し上げます。

アンケートは朝川によって整理されており、2015年夏展までの分はGSJ技術資料集 No.5 (https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ_ComRep_05_2016.pdf; 2016年4月19日確認)として公表されました。また、一般向けの資料として、2007年から2014年までのデータを、森尻ほか(2015)が報告しました。本稿では森尻ほか(2015)に引き続き、2015年度分のデータとご意見・ご要望への対応について報告します。

2. アンケートの回答より

2015年度のアンケートは展示ごとに5期に分けて分析しました(第1表)。まず、来館者数の月別変化を第1図

～第3図に示します。第1図は個人/団体別、第2図は地域別、第3図は職域別になっています。来館者は7月8月の夏休み期間が多く、しかもこの期間の来館者はつくば市内からが多くなっています。職域別では家族連れ、小学生が多くなっています。

アンケートの回収数や回答者の年齢構成に偏りがあるのは、団体のお客様の場合は代表の方にアンケートをお渡ししていますので、例えば、小学生の団体でもお答えいただくのは引率の先生です。つまり回答者として、先生の世代がカウントされることになっています。

2.1. 問1 あなたの年齢・性別は?

世代別の回答者数(第4図)を見ると、特にジオパーク展で40代の回答者数が多くなっています。これについては、夏休み期間でもあり、小さい子供を連れて来館した際に、アンケートに答えてくださった保護者の方に40代が多かったのだろうと考えています。

2.2. 問2 どこから来ましたか?

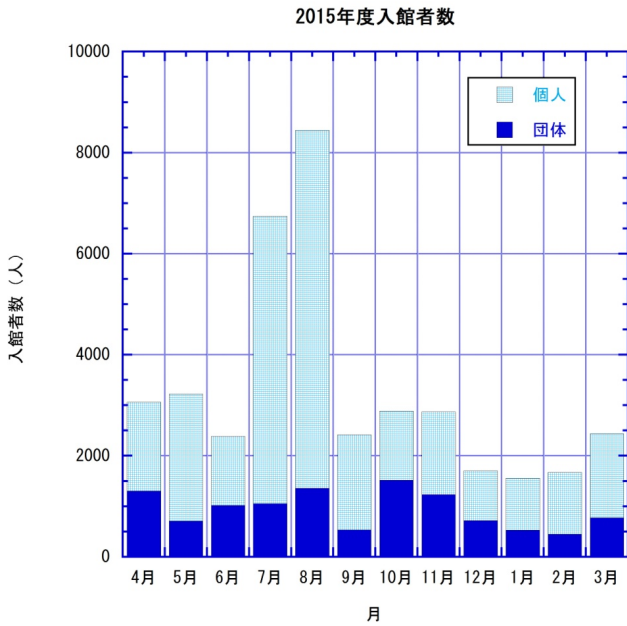
つくば市内、茨城県内つくば市外、茨城県外、無回答の4つに分類しています。来館者全体については第2図に示すとおりですが、アンケートの回答者も似たような傾向になります(第5図)。ジオパーク展につくば市内の方が多

第1表 2015年度の特別展一覧

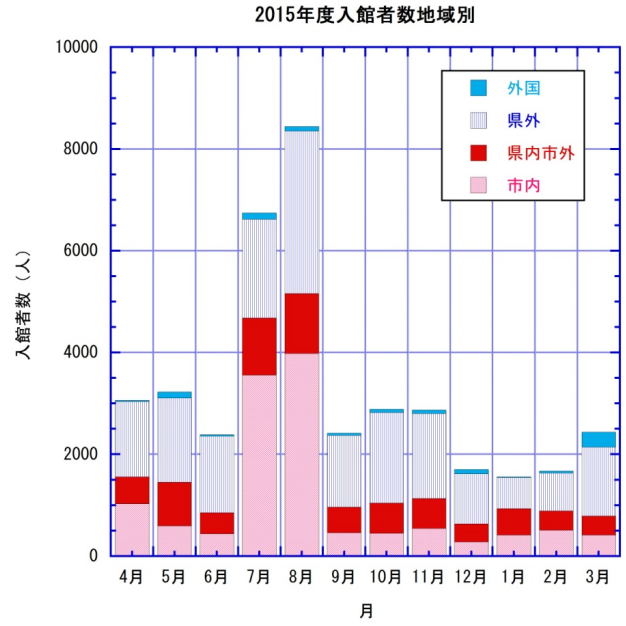
| 展示時期 | 特別展タイトル |
|---------------|---------------|
| 4月14日～7月12日 | 火山巡回展 伊豆大島 |
| 7月14日～9月27日 | ジオパークで見る日本の地質 |
| 9月29日～10月15日 | 常設展 |
| 10月15日～11月30日 | 臨時展示 地質模型 |
| 12月1日～3月21日 | 地質情報展ながの 再展示 |

1) 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター
2) 産総研 地質調査総合センター地圏資源環境研究部門(元 地質情報基盤センター)
3) 元 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター
4) 産総研 第三事業所研究業務推進室(元 地質調査総合センター地質情報基盤センター)
5) 産総研 中部センター研究業務推進部(元 地質調査総合センター地質情報基盤センター)

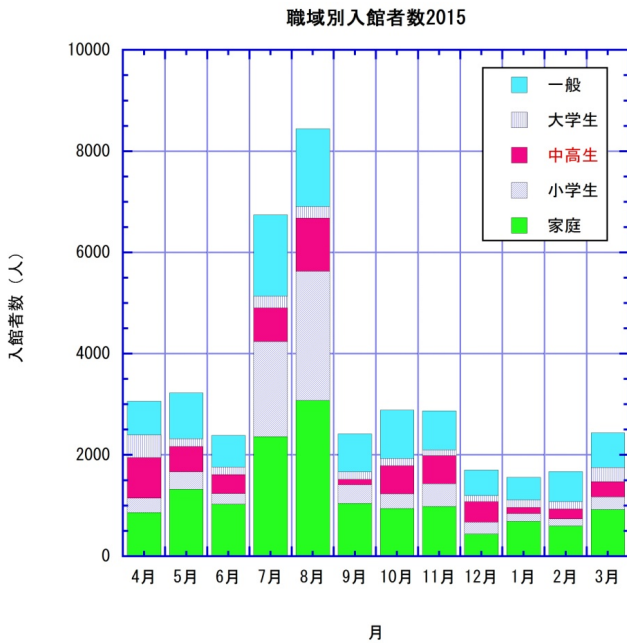
キーワード: 地質標本館, 来館者アンケート, 2015年度結果



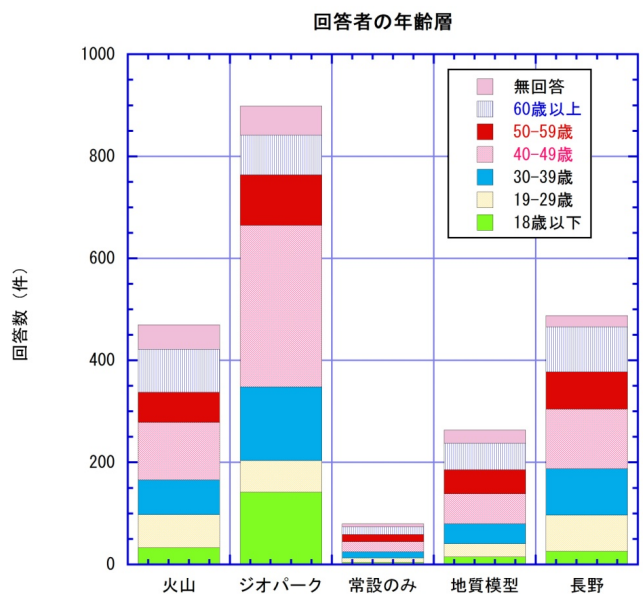
第1図 2015年度の来館者総数（受付調査）



第2図 2015年度の来館者数地域別（受付調査）



第3図 2015年度の来館者数職域別（受付調査）



第4図 2015年度のアンケート回答数（世代別）

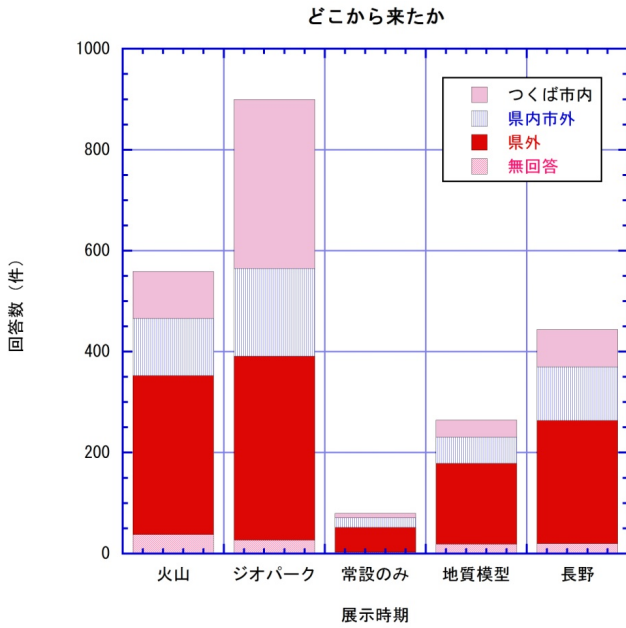
く来てくださったのは「つくばちびっ子博士」のスタンプラリーと時期が重なったからでしょう。

2.3. 問3 地質標本館に来た目的は？

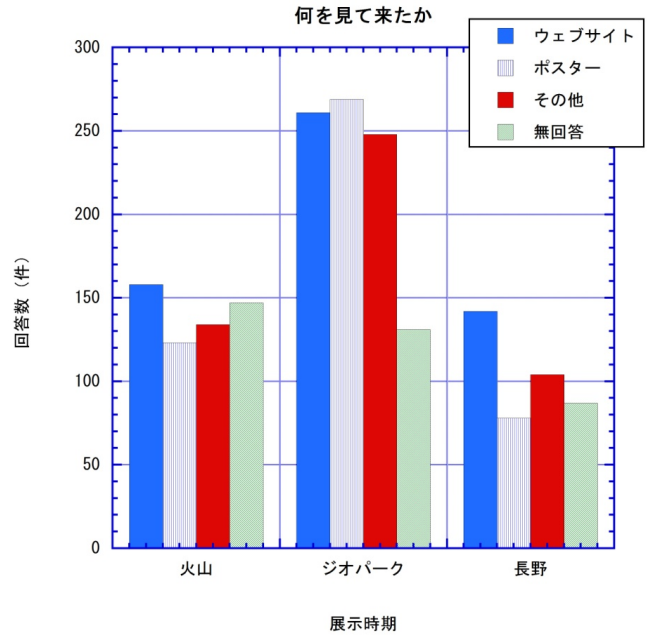
これは常設展示、特別展示、その他でお聞きしています（第6図）。夏休みなど季節によっても違います。「つくばちびっ子博士のスタンプを押しに来た」という回答は夏休みに多くなります。「ツアーの一環」という回答も多いです。

2.4. 問4 特別展示は何で知りましたか？

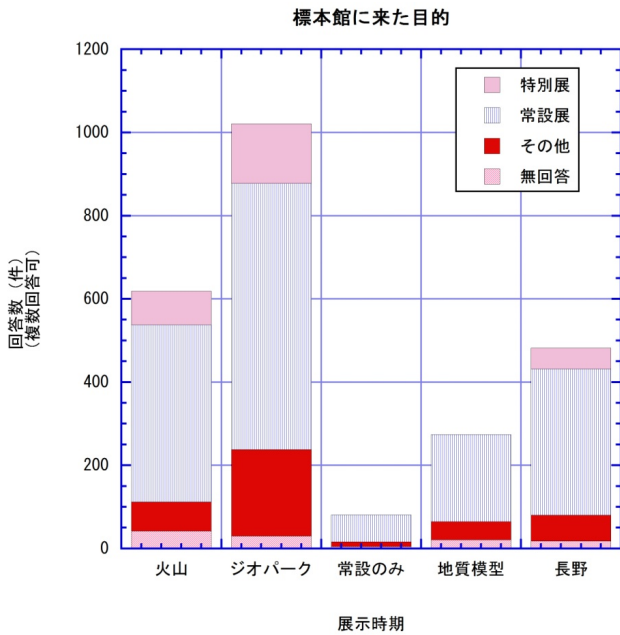
特別展の広告は、主として地質標本館ウェブサイトで行っています。ポスターは地質標本館の大型プリンターでプリントして、つくばエキスポセンターなどに掲示していただいただけとなっています。学校などにはチラシをお配りしています。回答を見ると、ポスターや掲示を見て地質標本館へ来てくださる方々の割合は高いと言えます（第7図）。



第5図 2015年度のアンケート回答数（地域別）



第7図 2015年度のアンケート回答数（特別展は何で知ったか）



第6図 2015年度のアンケート回答数（地質標本館に来た目的）

2.5. 問5 特別展をご覧になってどのように思いましたか？

これは単純に、面白かったか面白くなかったかでお聞きしています。概ね、面白かったと答えていただきました。

2.6. 問6 今後どのような特別展を見たいですか？

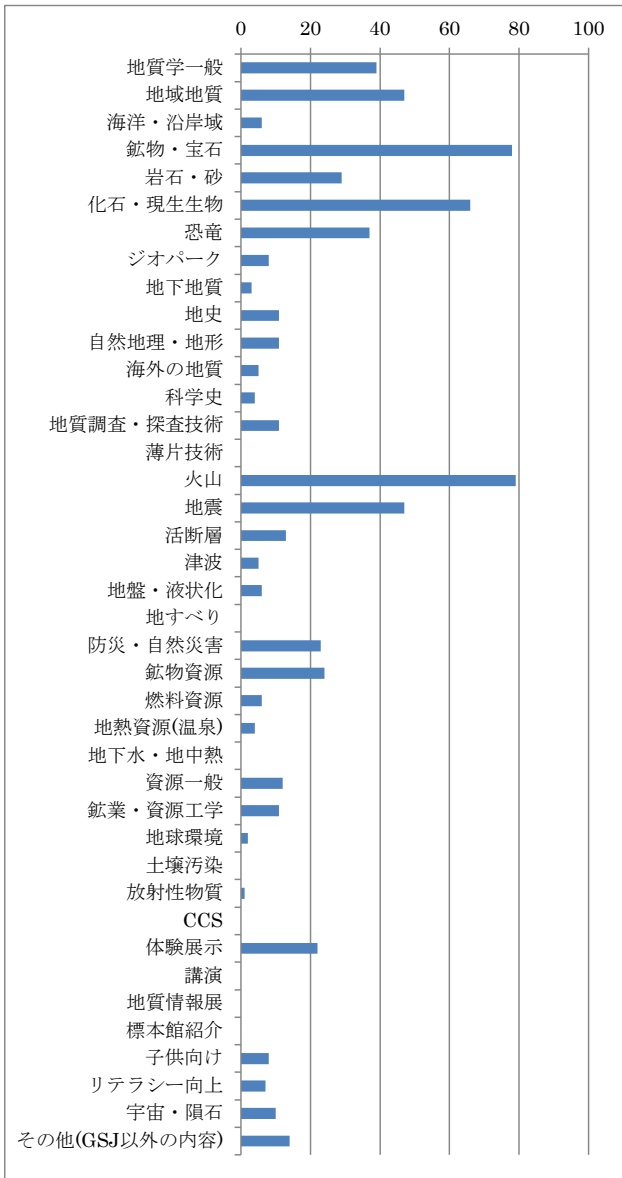
こちらは自由回答となっています。複数回答をいただいている場合もあります。キーワードで集約した結果を第8

図に示します。技術資料集になって分類をしていますが、鉱物と岩石、化石と恐竜は混同しているものも見られます。そこで、大体の傾向を見ると、最も希望が多かったものは、2015年度も化石・恐竜と宝石・鉱物でした。しかし地震・活断層・津波・火山・防災にあてはまるものも増えています。アンケートに大人の方の回答が増えたこともあるかと思いますが、地震や火山の噴火など大きな自然災害があると人々の関心が集まるのでしょう。

2.7. 問7 ご意見、ご要望

展示についていろいろな御要望をお寄せいただきありがとうございます。地質標本館に課せられた役割と照らし合わせて今後の参考にさせていただきます。その中で、子供向けの展示を増やしてほしいというご意見を多く頂戴しています。「子供向け」の子供がどのくらいの年齢をターゲットにすれば良いのかは、多くの博物館が頭を悩ましているところだと思います。

地質標本館は研究成果の普及も大きな目的の一つにしておりますので専門家の来館者も多く、アミューズメント施設を目指しているわけではありません。このため今のところ、小学校高学年以上であれば一通り楽しめるレベルを心がけています。それより小さなお子さんは保護者の方のサポートをぜひお願いしたいと思います。また、体験型展示を希望する声もありました。原則として展示標本は触ってはいけないものですが、中には触れても良いものもあります。そこで触れられる化石には「さわっていいよ」という



第8図 今後どのような特別展が見たいですか（キーワードで集約，複数回答あり）縦軸はキーワード，横軸は回答数。

札をつけています（第9図）。この札のある標本にはぜひ触れてみてください。

また，駐車場が少ない，交通が不便，休憩場所がほしい，ミュージアムショップを充実させてほしい，といったご要望も数多くありました。これらは，地質標本館だけではどうにもならない部分もありますが，関係部署とも連携して少しずつ改善されていくよう努力しているところです。例えばアンケートの声を受けて，産総研の制約の範囲内で新しいオリジナルグッズを考案し，有料頒布を行っています（第10図）。実物の標本を売ってほしいという声もアンケートに書かれることがありますが，地質標本館では標本の販売はしておりません。



第9図 触れる標本であることを知らせるマーク（キャラクターデザイン河村幸男，レイアウト菅家亜希子）



第10図 新しいミュージアムグッズを紹介したポスター（デザイン都井美穂）

3. 最後に

地質調査総合センターでは「地球をよく知り，地球と共生する」を理念として研究活動を行っています。その中で地質標本館は，一般への窓口として，広報・普及活動の一端を担っています。なお，地質標本館の膨大な数にのぼる標本は地質情報基盤センターのアーカイブ室が管理しています。標本は研究試料でもあり，地質標本館は，一般の方々がイメージされている展示館とは性格が異なる組織と

なっています。ただ、本物を見ていただきたい、地球のことを知っていただきたい、という地質調査総合センターからのメッセージを込めた展示を目指しているつもりです。

ごくごく一部ですが標本や模型、解説を通じて地球科学に触れる場として地質標本館が機能していけるよう、限られた環境の中でとなりますが、今後とも努力してまいります。つくばは多くの研究所が集まっている都市ですから、いろいろな場所を見学できる利点を生かして、ぜひ地質にも興味を持っていただき、地質標本館に足を運んでいただきたく思います。

アンケートは引き続き行ってまいりますので、御来館の折にはどうぞ協力お願いいたします。

謝辞：アンケートの集計には地質情報基盤センターの佐脇次長にもご協力いただきました。謝意を表します。

文 献

- 森尻理恵・吉田清香・朝川暢子・下川浩一・奥山康子・佐藤隆司・高橋 誠・酒井 彰・須藤 茂・利光誠一（2015）地質標本館来館者アンケート結果概報（2007-2014）. GSJ 地質ニュース, 4, 346-352.
- 吉田朋弘（2006）平成 17 年度地質標本館来館者アンケート報告. 地質ニュース, no. 620, 61-63.

参照ウェブサイト

- 産総研地質調査総合センター, GSJ 技術資料集 No.5, AIST15-G00002-5 <https://www.gsj.jp/publications/comprep/index.html>（2016 年 4 月 19 日確認）

MORIJIRI Rie, ASAKAWA Nobuko, SHIMOKAWA Koichi, OKUYAMA Yasuko, SATOH Takashi, TAKAHASHI Makoto, SAKAI Akira, SUTO Shigeru, TOSHIMITSU Seiichi, KANKE Akiko, YOSHIDA Sayaka, NAKAYAMA Atsushi, TSUNEKI Toshihiro and OGANO Isao (2016) Results of the questionnaires for the visitors of the Geological Museum in FY 2015.

（受付：2016 年 5 月 12 日）